

第2章 施策の方向と具体的な取組

「私たちの目指す図書館像 ―防府図書館の任務と目標―」の理念のもとに

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館。

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館。

現状と課題

防府図書館が平成21年に立てた「図書館資料整備計画」では、資料購入のための年度当初予算の目標額を、図書（視聴覚資料を含む）購入費については27,400千円、新聞・雑誌等（法令追録等を含む）購入費は4,148千円とし、平成27年度に目標達成を図りたいとするものでした。この目標額は、当時の人口10万人から15万人の都市102市区の図書館資料費決算額全国平均（2007年度統計『'09図書館年鑑』より）の31,520千円（新聞・雑誌等を含む）を基準として立てたものです。しかしながら、平成27年度の一般財源当初予算は、図書購入費が23,000千円、新聞・雑誌等購入費は4,148千円となっており、未だ目標額には達していません。

今後、この目標額の達成とともに、新たな課題解決型サービスの展開や電子書籍（注1）への対応など、社会や時代のニーズに対してより迅速に適応できる資料提供サービスの展開が求められます。

平成27年3月31日現在の、分類別の図書受入及び蔵書冊数は以下の通りです。

(注1) 電子書籍：編集から出版までをコンピュータで管理し、CD-ROMやコンピュータ可読ファイルで出版・配布する書籍。利用者はパソコンなどを使用してディスプレイに表示したり、必要な部分だけをプリントアウトすることができる。

分類別		25年度末 冊数	受入冊数		除籍等 冊数	26年度 増加冊数	現在 蔵書冊数
			購入	寄贈他			
一 般	0 総記	10,179	286	16	17	285	10,464
	1 哲学	14,666	398	38	72	364	15,030
	2 歴史	29,739	795	35	4	826	30,565
	3 社会科学	52,775	1,528	101	80	1,549	54,324
	4 自然科学	24,913	1,055	18	113	960	25,873
	5 技術	32,435	1,327	51	272	1,106	33,541
	6 産業	13,931	476	21	20	477	14,408
	7 芸術	24,806	891	18	285	624	25,430
	8 言語	6,965	138	7	11	134	7,099
	9 文学	96,422	2,405	184	293	2,296	98,718
	計	306,831	9,299	489	1,167	8,621	315,452
児 童	0 総記	1,188	46	1	0	47	1,235
	1 哲学	930	38	0	0	38	968
	2 歴史	4,197	150	8	0	158	4,355
	3 社会科学	3,343	124	1	0	125	3,468
	4 自然科学	6,398	257	15	0	272	6,670
	5 技術	2,383	169	4	0	173	2,556
	6 産業	1,385	70	2	0	72	1,457
	7 芸術	3,798	160	3	0	163	3,961
	8 言語	1,162	53	17	0	70	1,232
	9 文学	33,995	786	26	0	812	34,807
	絵本	30,684	1,189	17	0	1,206	31,890
	紙芝居	1,811	52	0	0	52	1,863
	計	91,274	3,094	94	0	3,188	94,462
○合計		398,105	12,393	583	1,167	11,809	409,914
郷 土	山口県	9,625	176	190	0	366	9,991
	防府市	8,726	36	223	0	259	8,985
○合計		18,351	212	413	0	625	18,976
外国語の図書		2,442	13	212	0	225	2,667
点字図書		291	1	5	0	6	297
◎総計		419,189	12,619	1,213	1,167	12,665	431,854

●AV資料受入点数

資料種別	25年度末 点数	受入点数		除籍点数	26年度 増加点数	現在 所蔵点数
		購入	寄贈他			
C D	6,554	100	5	459	-354	6,200
カセット	566	0	0	69	-69	497
LD・VHS	236	0	0	0	0	236
DVD	538	15	16	10	21	559
CD-ROM	91	0	2	0	2	93
合計	7,985	115	23	538	-400	7,585

●新聞・雑誌

△購入新聞等 — 19紙 △受贈新聞等 — 26紙

朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	日本経済新聞
産経新聞	中国新聞	山口新聞	日刊スポーツ
日経産業新聞	日本農業新聞	朝日小学生新聞	The Japan Times
日経流通新聞	週刊読書人	週刊ST	ほうふ日報
防日新聞	官報	国会議事録	

△購入雑誌 — 303誌 △受贈雑誌 — 約130誌

施策の展開

図書館資料の質・量両面の充実を図るために、「図書館資料整備計画」の資料購入当初予算目標額の達成を目指します。

「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、時代や利用者のニーズに対応した図書や視聴覚資料等の質・量両面にわたる充実、整備に努めます。

雑誌・新聞のタイトル数については、購入及び受贈によりその維持に努め、幅広い分野の逐次刊行物の充実、整備を図ります。

また、課題解決型サービスや電子書籍に対応した資料収集に努めるとともに、利用者ニーズを反映するため、予約・リクエストサービス（注1）の充実を図ります。

主な取組

- ★ 課題解決型資料提供サービスの展開（ビジネス支援、行政支援、医療健康情報案内、生活情報案内、育児支援、共働き家庭支援など）
- ★ 資料のハイブリッド化（注2）（電子書籍の普及に伴う資料提供サービスの変化）への対応
- ★ 利用者ニーズを反映する予約・リクエストサービスの整備

（2）老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館。

現状と課題

様々な世代や立場の利用者に、常に的確に対応できる図書館サービス体制の充実・整備が必要です。成人サービス・児童サービス（乳幼児サービスを含む）・ヤングアダルト（青少年）サービス（注3）など、それぞれの世代等によって異なる利用目的に適応できるサービスの展開が求められます。

（注1）予約・リクエストサービス：利用者から要求された資料は、その図書館での所蔵の有無に関係なく、図書館側の最善の努力によって一定期間内にすべて提供しようとするサービス。資料の提供は返却待ち、購入、他館からの借用のいずれかによって行われる。

（注2）資料のハイブリッド化：従来の紙の図書館資料に加え、電子資料も取り込みつつ、資料の提供をはじめ情報技術を利用してさまざまな電子的サービスを提供すること。

（注3）ヤングアダルト（青少年）サービス：中学生・高校生などティーン・エイジャーへの図書館サービス。児童室または児童コーナーとは別にヤングアダルト・コーナーを設けて独自の蔵書を構成し、貸出の他にブック・トーク、読書会、ミーティングなどを通して、地域社会の青少年交流の場を形成する。

また、ここ数年図書館利用者は漸減傾向にあることから、この傾向に歯止めをかけるとともに、潜在的な利用者の新規開拓を進める必要があります。そのための広報活動にも力を注がなければなりません。図書館の利用者増への取組は喫緊の課題です。

日常の地道で誠実な図書館サービスの積み重ねこそが広報活動の基本ですが、日々の生活の中での図書館の必要性を広く周知するためには、図書館からの積極的な情報発信・広報活動のあり方について考えていく必要があります。

また、誰もがいつでも安心して、楽しく利用できるよう、安全管理・危機管理体制を日常的に整備しておくことが必要です。

平成21年度から26年度までの図書館利用状況は、以下の通りです。

※入館者数

単位：人

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
304,510	303,758	290,502	291,348	279,257	264,046

※館外個人貸出者数

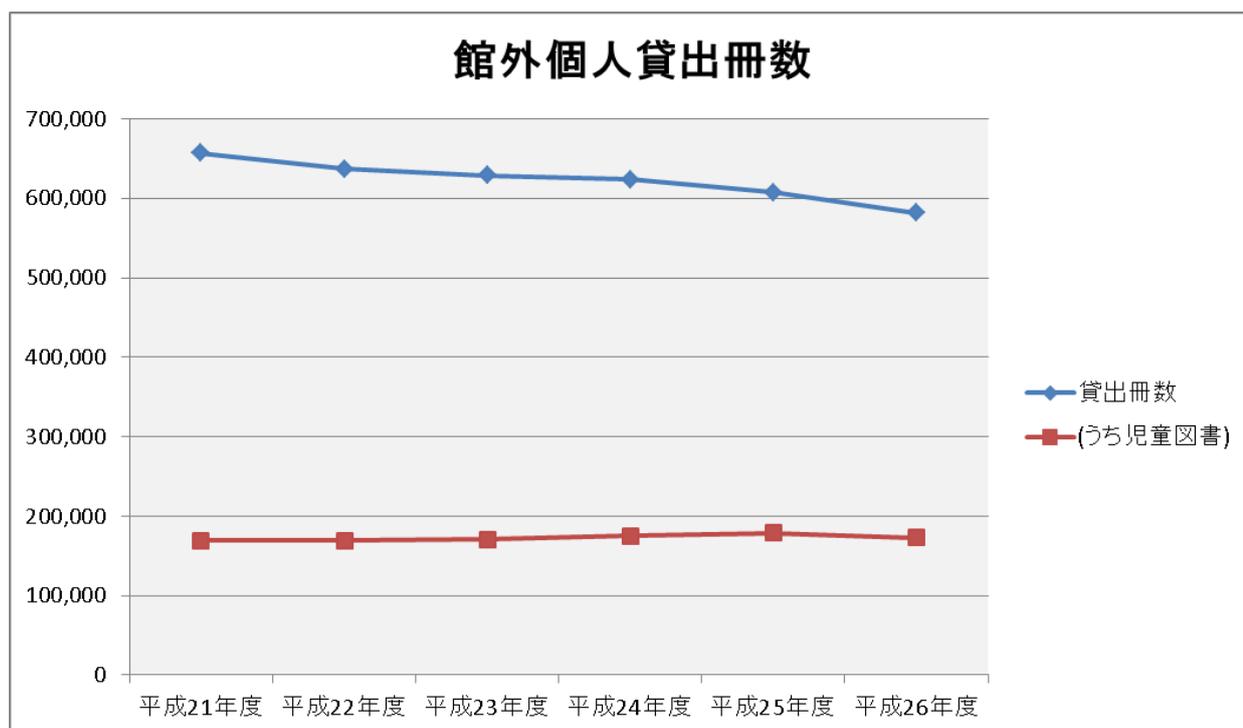
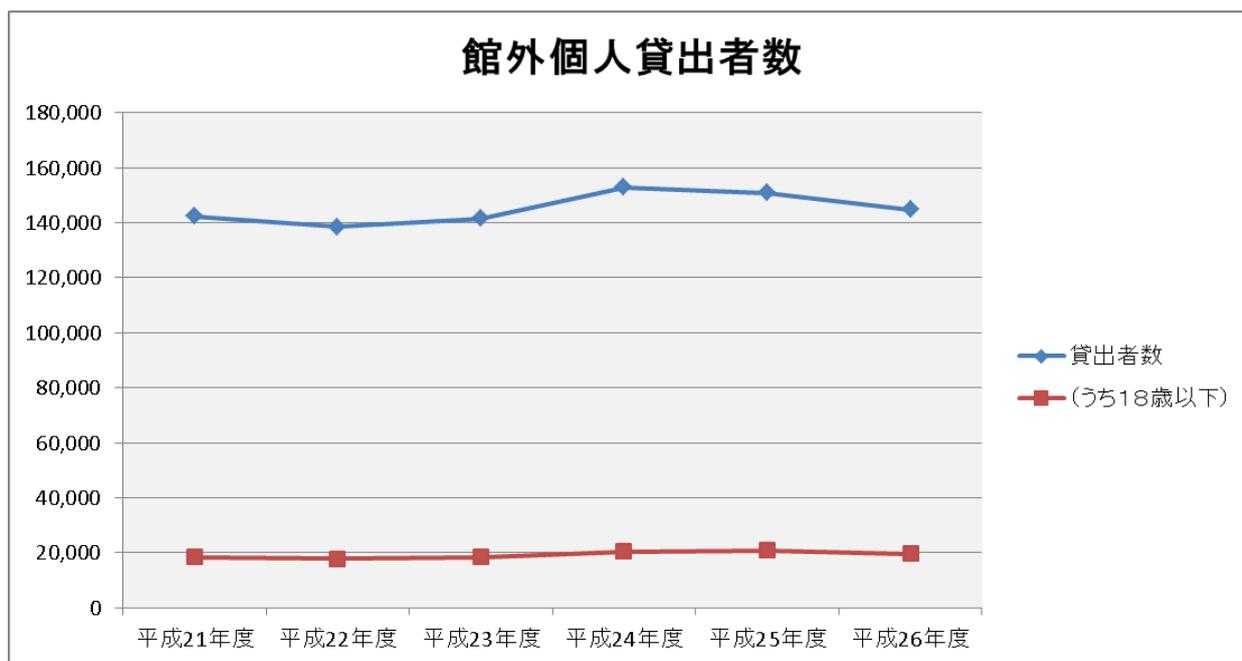
単位：人

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
66歳～	22,459	22,540	23,813	27,194	29,081	31,381
51歳～65歳	34,514	35,464	37,435	39,237	37,329	35,103
41歳～50歳	22,717	21,710	22,416	25,278	25,687	26,056
31歳～40歳	29,066	28,347	27,519	28,843	26,837	23,277
23歳～30歳	11,930	9,654	9,291	9,210	8,431	7,218
19歳～22歳	3,280	2,933	2,764	2,710	2,514	2,246
16歳～18歳（高校生他）	2,628	2,650	2,750	2,821	2,262	2,208
13歳～15歳（中学生）	3,335	3,093	3,278	2,864	2,900	2,521
7歳～12歳（小学生）	9,424	9,071	9,321	11,063	12,018	11,157
0歳～6歳（乳幼児）	3,036	3,078	2,973	3,625	3,656	3,586
合計	142,389	138,540	141,560	152,845	150,715	144,753
（13～18歳計）	5,963	5,743	6,028	5,685	5,162	4,789
（0～12歳計）	12,460	12,149	12,294	14,688	15,674	14,743

※館外個人貸出冊数

単位：冊

年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
貸出冊数	657,109	636,863	629,127	624,176	607,283	582,053
(うち児童図書)	169,409	169,334	170,728	174,786	178,742	172,927
※児童図書の割合	25.80%	26.60%	27.10%	28.00%	29.40%	29.70%



施策の展開

様々な世代や立場の利用者によって異なるニーズに的確に対応できるサービス体制の整備と、図書館利用教育の充実に努めます。

広く市民に図書館サービスの詳細を伝え理解を深めるため、また潜在的な新たな利用者の開拓をするため、更には行政機関内部への働きかけにより図書館事業への理解を深めるため、図書館からの情報発信活動の強化に努めます。

また、誰もがいつでも安心して楽しく利用できるよう、利用記録(読書履歴、複写履歴等)の秘密厳守と基本的人権やプライバシー保護の徹底に努めるとともに、日常的な安全管理・危機管理体制を整備します。

主な取組

- ★ 年齢別サービスの強化推進
- ★ 「ほうふ図書館だより」「としょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」「図書館年報」等定期刊行物の内容充実
- ★ 「図書館利用案内」等のリーフレット(注1)、パンフレット(注2)、行事案内チラシ、ポスターなどの内容充実
- ★ ホームページの内容充実
- ★ 市広報「ほうふ」の活用推進
- ★ 報道資料作成による、マスコミ活用広報活動の展開
- ★ 図書館まつり、子ども読書フェスティバルの内容充実
- ★ 図書館利用マナーリーフレット等の作成
- ★ 利用記録(読書履歴、複写履歴等)の秘密厳守と基本的人権やプライバシー保護の徹底
- ★ 安全管理・危機管理体制の日常的整備と強化
- ★ 接遇コミュニケーション能力の高い図書館員の育成と研修(他人への思いやり、優しさ、親切、謙虚さ、明るさ、笑顔が態度で示せる職員の育成)

(注1) リーフレット(leaflet)：1枚の紙に印刷したチラシなど、2ページから4ページ程度(両面刷り)の小型の刊行物。各種の宣伝・案内用などとして用いられることが多い。

(注2) パンフレット(pamphlet)：一般に仮り綴じの小冊子を図書と区別して呼ぶ用語。ユネスコでは出版統計の必要から「表紙を除き5ページ以上48ページ未満の印刷された非定期刊行物」との基準を定めている。

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館。

現状と課題

図書館から遠距離にある地域に居住する方も、近くに居住する方と同じように、図書館の資料を等しく直接手にすることができる全域サービスの環境づくりを目指して、平成23年11月から移動図書館車(注1)「わっしょい文庫」の運行を開始しました。

平成27年度後半現在、6コース35ステーションを、2週間に1回巡回しています。

現在必ずしも移動図書館車の利用が多いとは言えない状況の中で、今後、利用者数の増加を図るためには、定期的にステーションや運行コースの見直しをするとともに、様々な方法で移動図書館サービスについての周知をしていく必要があります。

移動図書館車「わっしょい文庫」の利用風景



市役所1号館玄関前



毛利氏庭園駐車場

平成26年度の「わっしょい文庫」の運行実績は以下の通りです。

- 移動図書館車「わっしょい文庫」1台。4トントラック改造【設計・施工：(株)イズミ車体製作所】。約3,500冊積載。開設ステーション34ヶ所。巡回日数153日

(注1) **移動図書館車**：図書館に直接来館しにくい遠隔地域等の利用者のために、図書館資料を積んで定められた場所(ステーション)に行き、貸出・返却・検索業務等を行う車輛。防府図書館の移動図書館車は、本館との同時交信システムを導入。公募により選ばれた愛称「わっしょい文庫」の名で親しまれている。

松崎・牟礼・富海・勝間コース（水曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
毛利氏庭園駐車場	178	574
牟礼公民館	112	540
富海公民館	91	246
富海小・中学校	156	798
スーパーはらだ	55	215
イオンタウン防府	157	829
合 計	749	3,202

右田コース（木曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
玉祖福祉センター・児童館	111	491
自由ヶ丘中央公園	123	628
市役所1号館玄関前	157	687
ユアーズバリュー右田店	144	735
笑顔ステーション・右田	65	226
J A上右田相談所	43	244
合 計	643	3,011

小野コース（金曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
鈴屋公会堂	157	784
久兼公会堂	16	59
中山遊園地	68	322
小野公民館	36	129
小野小学校	452	1,999
和字公会堂	35	131
真尾公会堂	45	193
合 計	809	3,617

植松・大道コース（水曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
コスパ防府	62	249
ふれあいステーションDAIDO	176	796
サン마트大道店	243	1,097
防府あかり園	271	993
切畑バス回轉場	88	408
合 計	840	3,543

佐波・仁井令・西浦・中浦コース（木曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
宮市福祉センター・児童館	58	278
ユアーズバリュー仁井令店	104	481
J A 西浦支所	113	589
ファミリーマート防府西浦店	86	411
中浦バス回轉場	79	386
合 計	440	2,145

華浦・新田・向島・中関・半田コース（金曜日）

ステーション名	貸出者数(人)	貸出冊数(冊)
保健センター	105	600
マックスバリュ新田店	391	2,092
向島小学校	226	1,171
松田農園	18	100
アルク中関店	311	1,554
合 計	1,051	5,517

また、市内の公民館15ヶ所に設置している「地域文庫（注1）」や、団体貸出（「貸出文庫」（注2）「読書会文庫」（注3））についても、今後利用の促進を図っていく必要があります。

●地域文庫（平成26年度利用状況）

公民館に15ヶ所設置。各文庫200冊ずつ年4回配本。管理・運営については、「地域文庫管理者」の辞令を交付し、公民館長に委嘱。

館外個人貸出者数	693 人	館外個人貸出冊数	1,472 冊
----------	-------	----------	---------

●団体貸出（平成26年度利用状況）

区 分	貸出文庫	読書会文庫	計
団 体 数	90	3	93
貸出冊数	21,185	308	21,493
貸出回数	707	37	744

施策の展開

図書館から遠距離に居住する方、交通手段のない方等の、幅広い利用が推進できるよう、移動図書館車「わっしょい文庫」を効果的に運行し、市内全域サービスの充実に努めます。

市民からの要望にできる限り応えられるよう、半年に1回、ステーション等に関する見直しを行います。運行日程等については、ホームページや市広報その他により、周知を図ります。

(注1) **地域文庫**：15ヶ所の公民館（野島は漁村センター）に、市立図書館の図書を約200冊配置し、貸出等のサービスを行っている本市の制度。図書は、3ヶ月ごとに交換し、利用者のリクエストにも応じている。

(注2) **貸出文庫**：市内の団体が市立図書館の図書を最大40冊まで1ヶ月間借りることができる本市の制度。学校等の教育施設や各種公共施設、民間団体などに貸し出している。

(注3) **読書会文庫**：少人数のグループで、特定の作家や特定のテーマに関する同一の著作を読み、意見や感想を述べ合う学習活動のための図書を貸し出す本市の制度。通常は5冊乃至10冊程度のセット図書を貸し出している。

また、「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)等、その他の館外奉仕活動(アウトリーチサービス(注1))の充実と周知に努めます。

主な取組

- ★ 移動図書館車「わっしよい文庫」運行サービスの充実
- ★ 「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の充実と周知

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館。

現状と課題

図書館における中心的なサービスの一つである参考業務(レファレンスサービス(注2))について、その存在を殆ど知らない市民も少なくなく、参考業務の件数も必ずしも多くないのが現状です。このサービスについて、広く市民に周知するとともに、職員のレファレンス能力の向上を図ることが求められます。

●参考業務及び複写サービス件数(平成26年度)

(1)参考業務	535 件	(2)複写サービス	1,925 件
(内訳) 文書	3 件	(モノクロ 10,035 枚 カラー 96 枚)	
電話	12 件		
口頭	520 件		

施策の展開

利用者の求めに的確に対応した、レファレンスサービスなどの情報提供サービスの質的向上を図るため、職員の研修体制の強化に努めます。

(注1) アウトリーチサービス：図書館のサービスポイントから比較的遠い地域に住む人々、或いは何らかの理由で図書館を訪れることのできない人々のために、図書館の方から出向いて行う各種サービスの総称。

(注2) レファレンスサービス(reference service)：知識や情報を求めてくる利用者に対し、図書館員が図書館の資料と機能を活用し、必要としている知識・情報の検索方法や参考資料を提供するサービス。現代の図書館の主軸をなす機能。参考業務とも言う。

行政各部署や他の諸機関とも連携を密にし、行政関係の資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、レフェラルサービス（注1）の強化に努めます。

また、読書案内（注2）・読書相談サービスを強化し、新着図書案内やテーマ（件名）別ブックリスト、パスファインダー（注3）の内容充実に努めるとともに、利用者とのコミュニケーションを図るフロアワーク（注4）の強化にも努めます。

さらに、図書館コンピュータ・システムの効果的・効率的な運用による情報提供サービス、利用者開放インターネットサービスの整備に努めます。わけでも、Webサービス（注5）による蔵書検索、予約、貸出期間延長等を充実し、図書館利用の促進を図ります。

主な取組

- ★ レファレンスサービス充実のための職員研修の強化
- ★ レファレンス事例集の作成と公開
- ★ レフェラルサービスの強化
- ★ 読書案内・読書相談サービスの強化
- ★ 新着図書案内やテーマ（件名）別ブックリスト、パスファインダーの作成と内容充実
- ★ 利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化

（注1）**レフェラルサービス（referral service）**：図書館利用者が求める資料や情報が自館に無い場合、それを所蔵する機関（官庁諸機関、専門機関、各種団体など）へ問い合わせたり、利用者をそれらの機関へ案内・紹介するサービス。

（注2）**読書案内**：図書館の利用者が必要とする資料を的確に入手することができるよう、図書館員が相談に応じ援助するサービス。蔵書目録の整備、新着図書案内やテーマ別ブックリストの作成などが有効な手立てとなる。

（注3）**パスファインダー（pathfinder）**：利用者に対して、特定の主題に関する各種情報資源や探索方法を紹介・提供する初歩的なツール。通常、その図書館のコレクションやサービスをもとに作成される。

（注4）**フロアワーク（floor work）**：一般にはデスクワークに対する立ち仕事のことを指すが、図書館では図書館員がデスクやカウンターを離れ書架の間を巡り、利用者のために行う利用案内、読書案内、レファレンスサービス等を総称して言う。フロアサービスとも言う。

（注5）**Web サービス**：利用者が、自宅や勤務先から、インターネットを通じて図書館のホームページで資料検索や予約、貸出期間延長等ができるサービス。

- ★ 資料検索システム、Web 目録等の内容整備
- ★ カレントアウェアネスサービス（注1）の充実
- ★ 利用者開放インターネットサービスの整備

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館。

（1）様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館。

現状と課題

平成3年に防府図書館開館50周年を記念して開始した「防府図書館まつり」は、平成27年度で25回目を数えました。

また、平成22年度までの「防府市子ども読書まつり」の内容を改め、平成23年度から開催している「防府市子ども読書フェスティバル」は、平成27年度で5回目を数えています。

いずれも、防府図書館と、市の関係部署・機関、ボランティアや民間団体とが連携・協働して実行委員会を立ち上げ、多くの市民の参加を得ている人気イベントです。

両イベントの、平成27年度の実施実績は以下の通りです。



平成27年度「防府市子ども読書フェスティバル」（鎌倉幸子さんによる講演）

（注1）カレントアウェアネスサービス（current awareness service）：現時点における最新情報を、オンライン情報検索システム等により検索し、利用者に提供するサービス。

●防府市子ども読書フェスティバル 5月31日（日） 10:00～15:00

催物	主催等	場所
講演会 「走れ！移動図書館 ～本でよりそう復興支援～」 講師 鎌倉 幸子 (公益社団法人シャンティ国際ボランティア会広報課長・東日本大震災図書館事業アドバイザー)	防府市立防府図書館	アスピラート リハーサル室
おはなし会 「うきうき！わくわく！！しぜんにからだが うごきだす ～みんなであそぼう part II ～ with にしのうらキッズ」	西浦幼稚園・西浦保育園 おはなしでんしゃ	〃
子ども読書活動・ 生涯学習活動紹介展示	防府友の会 防府図書館利用者・サークル連絡会 防府史談会 防府市読書グループ連絡協議会 防府市母親クラブ連絡協議会 布絵本「結う」	〃



平成27年度「防府市子ども読書フェスティバル」
(西浦幼稚園による「おはなし会」)

●防府図書館まつり 10月17日(土) 10:00~15:30

催物	主催等	場所
移動図書館車「わっしょい文庫」で 図書貸出サービス・読書相談・小 展示 「わっしょい文庫」で読み聞かせ 布絵本で遊ぼう	防府市立防府図書館 おはなしでんしゃ 布絵本「結う」	わっしょい広場
大井しげる笑文字コーナー		わっしょい広場
親子で手づくりを楽しもう！	おはなしでんしゃ 防府市母親クラブ連絡協議会	わっしょい広場
バザー	布絵本「結う」 西日本図書館学会山口県支部 防府市社会福祉事業団「防府市愛光園」 防府市母親クラブ連絡協議会 防府友の会	わっしょい広場
楽しいおやつづくり	防府友の会	フードスタジオ
図書館サークル活動等紹介展示	防府図書館短歌会、点訳青い鳥の会、 防府自由律俳句講座、こども自由律俳句 講座、西日本図書館学会山口県支部、 フォト・カプセル、防府市立防府図書館利 用者・サークル連絡会(サークレン)、子ど も読書活動推進ネットワーク・防府、防府 市母親クラブ連絡協議会、防府友の会、 学校図書ボランティアネット・防府、学校 図書館を考える会、防府図書館	研修室1、ロビー 付近(2階)
古本リサイクル市	防府図書館まつり実行委員会	研修室2、ロビー 付近(2階)

今後は、これらの行事がマンネリ化に陥ることなく常に活力に満ちた状況を維持できるよう、様々な世代の市民とともに、新たな協働事業の展開を図っていく必要があります。



平成27年度「防府図書館まつり」の風景

施策の展開

図書館事業への更なる市民参画の促進を図ります。防府市子ども読書フェスティバル・防府図書館まつり等の行事運営について、ボランティア等との協働を一層推進し、図書館事業への市民参画及びサービスの向上を図るとともに、新たな協働事業の展開を図ります。

主な取組

- ★ 防府市子ども読書フェスティバルの内容の充実
- ★ 防府図書館まつりの内容の充実
- ★ 新たな協働事業の展開

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館。

現状と課題

様々な内容に取り組んでいる図書館ボランティアの活動支援のため、その機会や場所・設備・資料・情報の提供などを行っています。

平成14年度からは「おはなしボランティア養成講座」を開設し、毎年度4回シリーズで、様々な角度から知識や技能の習得ができるようなカリキュラムにより、継続的にボランティアの養成を図ってきました。

平成26年度から講座の名称を「図書館ボランティア養成講座」と改め、更に研修的要素を強調した内容にして、現役のボランティアのスキルアップも図

っています。

今後は、ボランティア同士が横断的な連携を図り、図書館サービスのあり方に対する共通理解やそれぞれの活動に対する相互理解を深めるための機会を設けることも必要になると思われます。

平成27年度の「図書館ボランティア養成講座」の実施状況は以下の通りです。

●第1回 子どもの育ちと学校図書館

講師：梅本恵（『ぱっちわーく』事務局長）

8月5日（水）10：00～12：00

●第2回 図書館ボランティアのための図書館サービス基礎知識

講師：森川信夫（防府市立防府図書館館長）

8月12日（水）10：00～12：00

●第3回 絵本の魅力と読み聞かせ PARTⅢ

講師：山本安彦（山陽小野田市立中央図書館館長）

8月19日（水）10：00～12：00

●第4回 色々な本との出会いを作るーブックトークと科学遊びー

講師：河井律子（元福岡県立図書館副館長・別府大学司書講習講師）

8月26日（水）13：30～15：30

施策の展開

図書館ボランティアの養成、研修等の事業を推進、拡大し、各種図書館ボランティアとの協働、住民参画型事業の展開に努めます。

ボランティアの横断的な連携を図るため、連絡会議等の開催による情報共有と相互理解の推進に努めます。

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実、参加者の拡大
- ★ （仮称）「図書館ボランティア連絡会議」の開催

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館。

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館。

現状と課題

防府図書館では、桑山の図書館に新築移転した昭和56年頃から、市民と協働した集会文化活動を積極的に展開しており、生涯学習関連行事の開催回数や内容については、県内の図書館において屈指のものとすることができます。

今後、更にもその内容を充実させるため、市民の生涯学習・文化の発信拠点の一つとして、引き続き図書館行事を主催し、また学習グループ等と協働した活動を積極的に推進していくことが求められます。

施策の展開

資料・情報提供機能の実践活動への展開として、展示、講座、講習会、読書会、講演会、映写会、お話し会等の行事を主催、また学習グループ等と協働した活動を推進し、その充実に努めます。

更に、ホームページの内容充実、各種報道メディア等の活用を通し、それらの行事や活動の積極的な情報発信に努めます。

主な取組

- ★ 図書館資料展示の内容充実
- ★ 新たな図書館行事の開発
- ★ 学習グループ等と協働した活動の推進

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館。

現状と課題

あらゆる分野にわたる種々の資料を有し、その場で即座に利用することのできる図書館は、質の高い集会文化活動を展開し、学習効果を上げるのに適した施設とすることができます。防府図書館は、数多くの生涯学習グループの学習拠点として活用されています。

しかしながら現在、これらの生涯学習グループの年齢構成が高齢化しつつあ

り、中には活動の衰退が懸念されるグループも見受けられます。活力のある生涯学習活動を、次世代に継承していくための方策を考えることが必要です。

平成26年度の図書館学習サークル等の活動実績は以下の通りです。(順不同)

- (1) 防府図書館短歌会 講師：南本みどり 毎月第3水曜日
- (2) 自由律句講座 講師：富永鳩山 毎月第3土曜日
- (3) 源氏物語を読む会 毎月第2土曜日 講師：加藤 宏文
- (4) 色いろおはなし工房&結う (パネルシアター・布絵本製作) 毎月第3月曜日
- (5) 青海波俳句会 (中国支部) 毎月第2土曜日
- (6) なかよしくらぶ (お話ボランティア) 毎月第1金曜日
- (7) あいの会 (音訳ボランティア) 不定期
- (8) なごみ句会 [俳誌『同人』句会] 毎月第2金曜日
- (9) さざなみ21 (朗読劇の勉強会) 毎月第2・4水曜日
- (10) 陽だまりの会 (ストーリーテリング (注1) の勉強会) 7月5日 (土)・10月4日 (土)・12月6日 (土)
- (11) 子どもの本を読む会 奇数月第4土曜日
- (12) おはなしグループ森のくまさん (お話ボランティア) 毎月第2・4土曜日
- (13) 文学セミナー 不定期
- (14) フォト・カプセル (写真サークル) 毎月第2日曜日
- (15) おはなしでんしゃ (お話ボランティア) 毎月第2・4水曜日
- (16) 万葉集講座 講師：吉村誠 毎月第2金曜日
- (17) 倭王の物語講座 (古事記中巻を読む) 講師：吉村誠 毎月第4金曜日
- (18) 防府史談会 (郷土史研究会) 不定期
- (19) 防府図書館利用者・サークル連絡会 毎月第4月曜日

(注1) ストーリーテリング (story telling) : 昔話や民話、本に書かれた物語などを暗記して、大人や子どもたちに語って聴かせること。「おはなし」の語り。

- (20) 子ども読書活動推進ネットワーク・防府 毎月第3金曜日
- (21) 防府市読書グループ連絡協議会（読書会・読書推進運動） 不定期
- (22) こども自由律句講座 講師：田中里美 毎月第3土曜日
- (23) 食ing（子どもの食生活と学校給食の学習会） 毎月第4月曜日
- (24) 翠の会（音訳図書製作） 不定期
- (25) 古文書を読む会 講師：柴原直樹 毎月第2土曜日
- (26) 読書会 講師：森川信夫 毎月第1火曜日
- (27) 防府歴史と考古学の会 講師：桑原邦彦 第4土曜日
- (28) 防府市母親クラブ連絡協議会（親子読書活動） 不定期
- (29) つれづれの会（エッセイや日記を楽しむ会） 第1水曜日（4、7、9、11月）、第2水曜日（5、1、3月）
- (30) 『絶望の国の幸福な若者たち』を読む会 講師：島添美葉子 毎月第2土曜日
- (31) 古典を味わう会「今昔物語集」 講師：森川信夫 毎月第4火曜日
- (32) スリンガーの会（子育て学習グループ） 不定期
- (33) 防府友の会（『婦人之友』家事・育児学習グループ・生活改善啓蒙活動） 不定期
- (34) 学校図書館を考える会・防府 毎月第3土曜日
- (35) 防府点訳青い鳥の会 不定期
- (36) 学校図書ボランティアネット・防府 不定期
- (37) こども読書フェスティバル実行委員会 不定期
- (38) 図書館まつり実行委員会 不定期

施策の展開

図書館資料を活用する生涯学習グループ等の奨励、育成、支援を行います。

市民の学習活動を援助するための社会教育施設として、自由な談話、グループ学習活動の場や機会、活動のための資料、施設、設備、用具などを提供し、自主的な学習グループ活動やコミュニティ活動を奨励し、積極的な支援に努めます。

主な取組

- ★ 生涯学習グループへの支援の強化
- ★ 新たな生涯学習グループ活動の奨励

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館。

(1) 地域（郷土）資料（注1）を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

現状と課題

地域（郷土）資料については積極的な収集・提供に努めていますが、情報不足等による収集漏れもあり、今後、それらを補充していく必要があります。

特に、個人の自費出版物、行政関係資料等については注意が必要で、確実な情報収集により、地域（郷土）資料の整備・充実に努めなければなりません。

また、郷土出身の文学者、研究者、芸術家、ジャーナリスト、実業家他の過去の著作物の収集漏れについては、古書情報なども活用して可能な限り収集することが、出身地の公立図書館の責務と考えられます。

施策の展開

市民ニーズと地域の特性を反映した資料構成（コレクション）を図るため、地域（郷土）資料、特に防府市関係資料の質・量両面にわたる充実に努め、他に誇れる特徴的なコレクション形成を目指します。

主な取組

- ★ 地域の特性を反映した資料構成（コレクション）のための積極的な地域（郷土）資料の収集
- ★ 地域行政関係資料の積極的な収集・整備
- ★ 郷土出身者の著作物の積極的な収集・整備

(注1) 地域（郷土）資料：図書館が存在する地域における出版物、及び地域に関する歴史や文化、風土、状況等を知る上で有効な資料。

(2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館。

現状と課題

戦前から行ってきた郷土史料刊行事業は、平成27年度の『西浦塩業組合終末期の定款と就業規則』で、第65集目を数えます。

連綿と継続してきたこの事業が、現在、地元研究者の高齢化や、史料選択の困難さのために、次第に継続の難しい状況を呈しつつあります。事業を継続していくためには、然るべき研究者と適切な史料の発掘が急務です。また、地域の歴史や文化に関する、職員研修の強化も必要となります。

平成26年度の郷土史料刊行事業では、防府史料第64集『佐波郡西浦村沿革史』（田中和夫・校訂）を出版し、ホームページにも掲載しています。

また、防府図書館の前身「三哲文庫」を市に寄贈した上山満之進の顕彰と、「三哲文庫」の事績の後世への継承も、引き続き行っていくことが望まれます。

施策の展開

防府史料の刊行継続と電子書籍化のための、地元研究者との連携、史料の発掘、職員研修の強化に努めます。

また、上山満之進を顕彰し三哲文庫の事績を後世へ継承するため、関連資料の収集、展示、種々の情報発信等を行います。

主な取組

- ★ 防府史料の刊行継続・電子書籍化のための、研究者との連携、史料の発掘、職員研修の強化
- ★ 上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

現状と課題

平成15年4月に大韓民国江原道春川市立図書館と資料交換協定を締結して以来、毎年ほぼ100冊程度の図書を相互に寄贈し合っています。

今後は、これらの図書交換を通じた友好親善と相互理解を更に深めるとともに、図書館サービスに関する情報交換も活発に行い、サービスの向上に資することが望まれます。

施策の展開

姉妹都市である韓国春川市の春川市立図書館との資料交換協定に基づき、韓国で発行された書籍の収集、充実に努めるとともに、図書館のサービス内容に関する相互の情報交換を活発に行います。

また、他の外国語の資料も積極的に収集し、国際理解を深めるための多文化サービス（注1）の整備に努めます。

主な取組

- ★ 春川市立図書館との交流の推進と資料コーナーの整備
- ★ 外国語のサイン、図書館利用案内等の整備
- ★ 外国語の図書、新聞、雑誌、音楽資料、映像資料等の収集・提供
- ★ 日本語・日本文化学習のための資料、情報、機会等の提供

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館。

（1）学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館。

現状と課題

将来の市立図書館と市立小・中学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システム構築による資料の共有化・有効活用を目指し、平成24年度から26年度までに、すべての市立小・中学校27校（野島小・中学校を1校と数える）に学校図書館管理システムを導入しました。

市立図書館と小・中学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの構築については、市立図書館コンピュータ・システムの次期更新時（平成28年11月を予定）を目途に、図書の配送など物流システムも含めたシステムの構築が望まれます。

また、学校図書館が公共図書館利用の素地を養う場でもあることから、市立図書館と学校図書館とが、図書館運営に関して共通認識を持ち、協力体制を維持していくために、各小・中学校と市立図書館、教育委員会関係部署等による連絡会議を、平成24年度から開始しました。定期的な協議の実施が、学校図

（注1）多文化サービス：地域社会における民族的、言語的、文化的少数者に対して行う図書館サービスのこと。地域の外国人の必要とする資料を収集して提供するサービス等を言う。

書館の効果的で円滑な管理運営に成果をもたらすよう取り組む必要があります。

更に、将来設置が検討されている学校図書館支援センター（注1）と強固な連携を図り、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システム構築や各小・中学校と市立図書館、教育委員会関係部署等による連絡会議等が、十分な機能を果たすよう、学校図書館支援事業の推進に努めなければなりません。

公民館等との連携については、市立図書館が公民館内に設置している地域文庫や、市立図書館から児童館へ貸し出す貸出文庫の内容の充実が求められます。

施策の展開

市立図書館と学校図書館とのネットワーク化を推進します。将来の市立図書館と学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システム構築による資料の共有化と有効活用、学校図書館支援体制の確立を目指し、その管理の適正化と、授業や子どもたちの学習活動等における利用の活性化を図ります。

また、小・中学校と市立図書館、教育委員会関係部署等による連絡会議については、定期的な協議の実施が、学校図書館の効果的で円滑な管理運営に成果をもたらすよう取り組みます。

更に、将来設置が検討されている学校図書館支援センターと強固な連携を図り、学校図書館支援事業の推進に努めます。学校司書の研修の機会や場の提供にも、積極的に取り組む必要があります。

公民館等との連携については、市立図書館が公民館内に設置している地域文庫や、市立図書館から児童館へ貸し出す貸出文庫の内容の充実に努めます。

主な取組

- ★ 学校図書館とのネットワーク・システムの構築（資料の共有化）
- ★ 学校教育活動、学校図書館への支援（資料・情報の提供等）・連携・協力
- ★ 将来設置が検討されている学校図書館支援センターとの連携強化
- ★ 学校司書の研修の機会や場の提供
- ★ 学校、児童館等への団体貸出（貸出文庫）、出張サービス（出前講座など）の充実
- ★ 公民館との連携強化による地域文庫サービスの内容充実

（注1）学校図書館支援センター：地域内の学校図書館の運営や活用、学校図書館間の連携などに対する支援を目的として、教育委員会事務局内または公立図書館内に設けられた機能。図書館ネットワーク・システム構築の際の要として機能する。

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館。

現状と課題

利用者からの多種多様な要求に的確に応えるためには、自館のみの資料・情報では十分対応できないのが現状です。

単独では限界のある様々なサービスを補う手段として、他の図書館や美術館・博物館などとの相互協力を推進する必要があります。

国立国会図書館・県立図書館・他の市区町村立図書館、更には大学図書館・専門図書館等とも連携を強化することにより、多様な利用者の要求に応じていかなければなりません。

平成26年度の図書館相互貸借の実績は、以下の通りです。

●防府図書館相互貸借実績（平成26年度）

館名	貸出冊数	借用冊数
山口県立山口図書館	44	121
下関市立図書館(3館)	53	32
宇部市立図書館	51	39
山口市立図書館(6館)	45	49
萩市立図書館(3館)	126	179
下松市立図書館	60	20
岩国市立図書館(7館)	108	39
光市立図書館	40	13
長門市立図書館	80	32
柳井市立柳井図書館	35	5
美祢市立美祢図書館	27	8
周南市立図書館(4館)	131	157
山陽小野田市立図書館(2館)	82	28
周防大島町立図書館(4館)	128	11
和木町立図書館	6	0

田布施町立田布施図書館	15	2
平生町立平生図書館	20	2
県外の図書館(中国地方)	26	42
県外の図書館(その他)	21	11
山口大学	0	5
山口県立大学	0	1
合 計	1,098	796

施策の展開

利用者から求められた資料や情報は、原則として可能な限り提供するという、図書館サービスの基本的な考え方にに基づき、図書館ネットワーク(図書館間相互協力体制)の活用推進、また他機関との連携、MLA連携(博物館・美術館 Museum と図書館 Library、文書館 Archives との連携)の強化等に努めます。

こうした連携の強化により、資料相互貸借・レファレンス協力・レフェラルサービス・文献複写送付サービス等の推進と周知、資料収集・保存協力体制の確立を図ります。

主な取組

- ★ 資料相互貸借の推進と周知
- ★ レファレンス協力・レフェラルサービスの推進と周知
- ★ 文献複写送付サービスの推進と周知
- ★ 資料収集・保存協力体制の確立

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館。

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館。

現状と課題

平成22年度から26年度までの5年間に実施した「防府市子ども読書活動推進計画」(第1次計画)において、移動図書館車の運行開始、市立図書館への児童用相談カウンターの設置、学校図書館管理システムの導入、学校図書館へ

の学校司書の配置、子ども読書フェスティバルの開催、図書館を使った調べる学習コンクールの開始など、数多くの事柄が実現の運びとなりました。

これらの成果を受けて、平成27年度から31年度までの「第2次防府市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

計画の確実な実施に向けて、市立図書館と子どもの読書活動に係るボランティアや民間団体、学校・保育園(所)、市の関係部署・機関等、関係者が一体となって建設的に計画を推進しなければなりません。

第2次計画においても、第1次計画と同様、年度ごとに実施目標等を設定し、計画に基づく施策や取組の実施状況を把握して、年度末に点検・評価をする必要があります。

子どもの読書活動推進に係る平成26年度の主な図書館主催事業は、以下の通りです。

●児童文学講演会（防府市子ども読書フェスティバル）

演題：「これも読む、あれも読む、たぶん読む、きっと読む

—読書について調べてみると—

講師：小田光宏（青山学院大学教授）

6月8日（日）10：30～12：00

●子ども図書館員 8月8日（金）・11日（月）13：30～16：00

参加者両日とも各9名

●防府市図書館を使った調べる学習コンクール（募集 8月1日～9月29日）

●資料展示 子どもカウンター横

うそつきの本 4月4日（金）～4月29日（火）

ちいさなどうぶつあつまれ 5月2日（金）～6月4日（水）

パパのよみきかせだいさくせん 6月6日（金）～7月2日（水）

夏！調べものに出かけよう！ 7月4日（金）～8月6日（水）

妖怪大集合 8月8日（金）～9月3日（水）

Let's 朝読 9月5日（金）～9月29日（月）

秋をみつけよう 10月4日（土）～11月5日（水）

あかちゃんと絵本で遊ぼう 11月7日（金）～12月3日（水）

心躍るクリスマス 12月5日（金）～12月28日（日）

星に親しもう	1月5日（月）～2月4日（水）
冒険・探検の話	2月6日（金）～3月2日（月）
イースター（復活祭）	3月7日（土）～4月1日（水）

施策の展開

「第2次防府市子ども読書活動推進計画」に基づく、子どもの読書活動に係る各種事業を実施します。子どもの読書活動に係るボランティアや民間団体、学校・保育園(所)、市の関係部署等行政機関との連携強化を図り、子どもの読書活動を推進します。

また、「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、図書館資料を活用した学習活動の啓発を図ります。

これらの活動を効果的に推進し、児童サービスを向上させるために、職員の研修を強化します。

主な取組

- ★ 「第2次防府市子ども読書活動推進計画」中の市立図書館取組項目の推進
- ★ 市の関係部署等行政機関との連携強化
- ★ 「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施
- ★ 児童サービス向上のための職員研修の強化

（2）子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

現状と課題

現在「図書館ボランティア養成講座」では、従来からの「おはなしボランティア養成講座」の内容を改変し、ボランティアの知識・技能向上のための要素を大幅に加味した研修を実施しています。

また、子どもの読書活動推進に係る図書館ボランティアへの機会や場所・設備・資料・情報の提供など、積極的な活動支援を行っています。

今後も、講座の内容の更なる充実と、ボランティア活動の奨励・支援強化に努める必要があります。

平成26年度の、子どもの読書活動推進に係るボランティアサークル等の主

な活動実績は、以下の通りです。(順不同)

- 色いろおはなし工房&結う (パネルシアター・布絵本製作) 毎月第3月曜日
- なかよしくらぶ (お話ボランティア) 毎月第1金曜日
- 陽だまりの会 (ストーリーテリングの勉強会) 7月5日 (土)・10月4日 (土)・12月6日 (土)
- 子どもの本を読む会 奇数月第4土曜日
- おはなしグループ森のくまさん (お話ボランティア) 毎月第2・4土曜日
- おはなしでんしゃ (お話ボランティア) 毎月第2・4水曜日
- 子ども読書活動推進ネットワーク・防府 毎月第3金曜日
- こども自由律句講座 講師：田中里美 毎月第3土曜日
- 防府市母親クラブ連絡協議会 (親子読書活動) 不定期
- スリンガーの会 (子育て学習グループ) 不定期
- 防府友の会 (『婦人之友』学習グループ・生活改善啓蒙活動) 不定期
- 学校図書館を考える会・防府 毎月第3土曜日
- 学校図書ボランティアネット・防府 不定期
- 子ども読書フェスティバル実行委員会 不定期

施策の展開

「図書館ボランティア養成講座」の更なる内容の充実により、図書館ボランティアの養成、知識・技能向上のための研修強化に努めます。

また、「防府市子ども読書フェスティバル」や「防府図書館まつり」などの行事におけるボランティアとの協働を一層強化し、子どもの読書活動推進に係る図書館ボランティアへの機会や場所・設備・資料・情報の提供など、積極的な活動支援を行います。

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実
- ★ 子どもの読書活動に係る図書館ボランティアへの支援強化

7 障害者や高齢者に優しい図書館。

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館。

現状と課題

日常生活の中で社会的に弱い立場にある障害者や高齢者が、いつでもどこでも読書に親しむことができる環境の整備を目指し、行政の障害者高齢者サービス担当部署やボランティアとも連携して、点字図書（注1）、大活字本（注2）、各種視聴覚資料、布絵本など、多様な資料の収集・提供に努めるとともに、移動図書館車「わっしょい文庫」で、高齢者施設などを訪問しています。

また、費用を図書館が負担して、障害者のための郵送貸出も実施しています。

今後も、障害者や高齢者の立場に立ったサービスの周知と推進を図り、読書環境の整備に努める必要があります。

施策の展開

障害者や高齢者が気軽に利用できる、点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本、拡大読書器、拡大鏡等の整備・充実に努めます。

また、ボランティアや行政の障害者高齢者サービス担当部署、公民館、学校、点字図書館、社会福祉協議会等との連携を強化するとともに、移動図書館車等も活用して、障害者や高齢者のための読書環境整備に努めます。

こうした施策の周知と推進により、障害者や高齢者が読書活動を通じて交流を深め、生きがいや喜びを見出せるサービス環境の整備に努めます。さらに、障害者や高齢者へ配慮した図書館利用促進のための情報発信の展開を図ります。

主な取組

- ★ 点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本、拡大読書器、拡大鏡等の整備・充実
- ★ 行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等との連携協力による情報発信の強化

(注1) 点字図書：点字で書かれた図書。点字は表面が突起した点を紙に記し、その組み合わせによって音を表す文字。視覚障害者はこれを指先の触覚を利用して読み取る。

(注2) 大活字本：弱視者や高齢者用に、大きな活字で印刷された図書。

- ★ 手話によるサービス、筆談によるサービスの推進
- ★ 障害者用郵送貸出サービスの周知と推進

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館。

現状と課題

視覚障害者や高齢者が、いつでもどこでも読書に親しむことができるよう、ボランティア等とも連携協力して、対面朗読、音訳図書製作・視覚障害者用郵送貸出などのサービスを行っています。今後も、こうしたサービス体制を更に強化していく必要があります。

視覚障害者用郵送貸出については、定期的に利用されていますが、利用頻度は必ずしも高くなく、今後ボランティア等との連携強化により、このサービスの周知と更なる利用の拡大に努める必要があります。

施策の展開

ボランティア等とも連携協力して、大活字本・音声資料等、視覚障害者や高齢者の使いやすい資料の収集・提供に努めるとともに、対面朗読や視覚障害者用郵送貸出などのサービスの周知と推進に努めます。

主な取組

- ★ ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作
- ★ 対面朗読、視覚障害者用郵送貸出等のサービスの周知と推進

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

現状と課題

図書館と、障害のある利用者のためのボランティアとが連携し、対面朗読、点訳図書製作、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを行っています。今後も、これらの業務に携わるボランティア活動を奨励するために、その機会・場

所・設備・資料・情報の提供などの活動支援を強化していく必要があります。

平成26年度の、障害のある利用者のためのボランティアサークル等の活動実績は、以下の通りです。(順不同)

- あいの会（音訳ボランティア）不定期
- さざなみ21（朗読劇の勉強会）毎月第2・4水曜日
- 陽だまりの会（ストーリーテリングの勉強会）7月5日（土）・10月4日（土）・12月6日（土）
- 翠の会（音訳図書の製作）不定期
- 防府点訳青い鳥の会 不定期

施策の展開

障害者のための図書館ボランティアの養成に努め、その活動を奨励・支援します。

主な取組

- ★ 障害のある利用者のためのボランティア活動への支援強化（機会・場所・設備・資料・情報の提供などの活動支援強化）